

事業所名

放課後等デイサービス WING

### 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		「Live in Community」地域で生きていく・子ども達が地域で安心して生活ができるように、家族だけではなく地域全体で育てていく。							
支援方針		「褒め、認め、励ます」支援 チャレンジする気持ちを大切にいろいろな体験をさせ、できることを増やす支援を行う							
営業時間		9 時		00 分から		17 時 00 分まで		送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的生活スキルの習得が行えるよう支援します。（体温測定・手洗い・うがい） 更衣、準備、片付け、忘れ物をなくすための工夫、排泄を身につける方法等、それぞれの子ども達の状況にあった支援を行います。 また、遊びの中や日常の中から学習機会を利用し、支援を行います。 日頃から児童の健康の確認を行うとともに体調不良などの意思の表出が難しい方には、表情等の様子を確認しながら健康管理を行っていきます。 散歩や公園遊びなどで、交通安全のルール等を学びます。							
	運動・感覚	バランスボール・トランポリン等の器具や集団活動を通してゲーム感覚で体幹の維持や身体のコントロール、バランス感覚を学びます。 個別活動（ダーツ、ボーリング等）では力の強弱、距離感を学びます。 余暇活動ではフラッシュゲーム・音あてゲーム・ブラックボックスなどで様々な感覚、感触に触れ、感覚の成長を支援します。							
	認知・行動	それぞれの子ども達の特性に合わせて、「いつ」「誰が」「どこで」「どのように」「何を」「どのように」「どうやって」を視覚的に提示することで、子ども達が次の活動へと自発的に行動し（スケジュール）、学習面においてももしかくてきに理解し（自立課題）、一人でできた！の自己肯定感を育めるよう支援をします。 また日常生活においても自分のスペース（荷物の置き場所、靴の置き場所、食事の場所）を視覚的に提示し自信をもって行動できるよう環境設定を行います。							
	言語 コミュニケーション	子ども達の特性に応じて言葉だけではなく非言語（ジェスチャー、絵カード、写真、PEGS等）のコミュニケーション方法を支援していきます。 適切な言葉使いができず、お友達と距離が出来てしまったり、ご家庭での困り感によってはSST（ソーシャルスキルトレーニング）を個室で児童とスタッフが1対1で行い、どうすれば適切なコミュニケーションができるか一緒に勉強していきます。 また発語が難しく、大きな声を出したり、他害行為や自傷行為がある子ども達にも、その「要求」や「拒否」、「注意喚起」などの機能が含まれています。 適切な方法でのコミュニケーション方法を学ぶことで、自分も回りも大切にすることを学びます。							
	人間関係 社会性	外出（公園・遠足・博物館等）を通してルールやマナー、他者との距離感を学びます。 集団活動前にルール等の確認を行い。終了後にはフィードバックをみんなで行うことで、こんな時はどうすれば良かったか、次はどうすればよいか一緒に学んでいきます。 また、個別での訓練が必要な子ども達には、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行います。 対人関係、金銭、異性との距離感、マナー、ルール等、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。 また、ストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考えます。 調理実習（お昼ご飯・おやつ作り）などの食育を通して食事ルールを学びます。							
家族支援		家庭での生活の様子を定期的に（年2回、又は必要に応じて）面談にて把握し、支援に生かす。				移行支援		毎日の10分トレーニング（※5領域から）	
地域支援・地域連携		学校・生活支援センター・相談支援専門員と定期（又は必要に応じて）計画的に連携する。				職員の質の向上		毎月1回の打ち合わせ（研修）、研修年2回	
主な行事等		外出（ピクニック・見学）、調理実習（ごはん・おやつ作り）、ハロウィン、お誕生日会、クリスマス会、プール、節分等							